

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月21日更新

事務事業名		合志市スポーツ推進委員配置事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開 輝久雄
	施策	11	生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	松山 美咲
	施策の柱	40	スポーツの啓発と参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10824	根拠法令	スポーツ基本法 合志市スポーツ推進委員に関する規則		
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	スポーツ基本法に基づき配置。合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行ない市民の理解を深める活動を行なう。令和2年度時点で、27人を配置。 住民のスポーツ振興のために月に1度以上会議を行ない、各種スポーツ大会を企画立案し実施する。 各スポーツ推進委員のスキルアップと多くのスポーツ関係者が健康・運動に関する知識を得られるよう研修・講習会を開催する。 区やコミュニティ、老人会などが主催する様々なスポーツイベントにおいて、出前講座として、指導助言を行なうスポーツ推進委員を派遣する。 他市町村の取り組みと状況を学ぶとともに連携を深めるため、県スポーツ推進委員研修会や九州スポーツ推進委員研究大会に参加する。(令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止)
【業務の流れ】	会議の開催、スポーツイベントおよび研修会の企画立案、出前講座の手配 年報酬および費用弁償等の支払い スポーツ推進委員手帳等の消耗品の購入手続 県スポーツ推進委員協議会への負担金支払い事務
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)、旅費(普通旅費)、消耗品費、役務費、負担金、時間外手当、
【意見や要望】	スポーツ推進委員の出前講座で様々な年齢層に指導を行っており、親切で分かりやすい軽スポーツの指導をいただいたという意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO) 6月までは感染症対策のため月例会議を中止した。7月から再開し毎月実施した。9月に地区別研修会を実施し、カラーリング、ベタングのルール確認、ラジオ体操の研修を行った。		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼 ・熊本県スポーツ推進委員研究大会 ・九州地区スポーツ推進委員研究大会・全国スポーツ推進委員研究協議会に参加予定 ・ニュースポーツ大会・スポーツフェスティバルなど
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア スポーツ推進委員の出席(派遣)機会事業回数	回	推進委員のユニフォーム代(需用費)の減
イ 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・合志市民		→ ア 合志市民
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・スポーツに親しんでいる		→ ア 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合
		→ イ %
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・市民がスポーツに親しんでいるかどうかは、スポーツ大会にどれだけ参加しているかで推測するしかない。 また、市主催大会でなければその数は把握できない。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア 回		37	48	40	17	40	40	40	40
	イ 人		3,741	2,651	5,000	114	5,000	5,000	5,000	5,000
② 対象指標	ア 人		62,343	62,707	62,500	62,707	63,000	63,500	64,000	64,500
	イ									
③ 成果指標	ア %		6	4.2	8	0.1	8	8	8	8
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3,549	3,026	3,264	1,978	2,971	4,000	4,000
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	3,549	3,026	3,264	1,978	2,971	4,000	4,000
		(A)のうち指定経費	千円	1,095	1,055	1,071	1,007	1,072	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
人 件 費	延べ業務時間	時間	1,132	1,172	120	1,080	1,000	1,000	1,000	1,000
		(B) 人件費計	千円	4,462	4,644	478	4,258	3,984	3,984	3,984
	トータルコスト(A)+(B)		千円	8,011	7,670	3,742	6,236	6,955	7,984	7,984

事務事業名	合志市スポーツ推進委員配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度的事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 感染症拡大のためイベントが中止となり、春ウォークラリーのみの開催となった。出前講座などの申込みもなかったため、達成できなかった。
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 感染症拡大の状況によるが、予定されたイベントなどが開催されれば達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 住民へのスポーツ推進委員の知名度も広まり、派遣機会も増加してきているが、リピーターが多く更に啓発が必要である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 健康づくり関係課と連携することにより向上が期待できる。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の出席にし事業費を削減しているが、事業の拡大を考慮すると増員も必要である。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人数で行っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 地域の代表であるスポーツ推進委員は全市民を対象にサービスを展開しており、住民はスポーツ推進委員を活用する機会が公平に与えられている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 スポーツ推進委員は教育委員会から委嘱するものなので、行政の役割となる。

3 評価結果の総括（CHECK）

スポーツ推進委員の認知度は上昇しており、各種大会の参加者は増加傾向で、派遣の依頼も増加している。
 今後も健康の増進とスポーツの普及のために、大会や派遣請負の周知に力をいれ活動の場を広げていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）